学校通信　第 35 号

# さわふじ

西原中学校
校長：斉藤美喜夫
令和２年12月７日(月)

「スローガン：挨拶・聴く態度など凡事徹底が主体的にできる西中生」

## 新会長にＹさん

**～生徒会選挙～**

11月27日(金)令和３年度生徒会役員選挙が実施されました。今回は新型コロナウィルスの影響で、立候補者の立会演説会は給食時間に校内放送で行われました。(３学年は27日朝会でも実施)

投票の結果、新生徒会長には「とにかく楽しい学校に！新しい企画をします」と訴えたＹさん(２年)、副会長には「楽しい学校行事を増やします」のＴさん(２年)と「例年とは行事が違った形になるけど自分がリードして学校を盛り上げます」のＹさん(１年)が選出されました。

正・副会長以外の庶務の14人には、Ｙさん・Ａさん・Ｙさん・Ｔさん・Ｎさん・Ｏさん・Ｎさん・Ｍさんの２年生と、Ｋさん・Ｎさん・Ｍさん・Ｏさん・Ｏさん・Ｔさんの１年生が選ばれました。

## 自治会ｸﾞﾙｰﾌﾟで活発に

**～２年学活授業～**

12月１日(火)５校時、２年１組で学級活動研究授業を大川晃先生が行いました。生徒たちは安全な生活を守るために、身近に潜む危険について共有し、地域マップ作りの計画をグループで話し合っていました。

参観者からは「自治会ごとのｸﾞﾙｰﾌﾟなので意見交換が活発でした」「事前ｱﾝｹｰﾄ(危険な場所ﾗﾝｷﾝｸﾞ)をうまく活用して意欲感心を高めていました」「発表後の質問・応答があるともっと対話的になりますね」など声が聞かれました。

## 身近な危険ランキング

**～３年学活研究授業～**

12月１日(火)の６校時には、３年４組でも板崎麻美先生が題材「安全な生活を守るために」で日常生活で起こりうる危機を想定し、有事に備える危機管理能力を育てる授業を公開しました。生徒たちは、地域ｸﾞﾙｰﾌﾟに分かれ、通学路を中心に危険だと思う場所をﾗﾝｷﾝｸﾞ形式で意見交換し、自分ならではのｴﾋﾟｿｰﾄﾞも紹介して話が盛り上がっていました。

---

**《イキイキ子育て》**

**最終回**　家庭教育手帳：文部科学省

**○子どもにとって「いい学校」とは**

「いい学校に行き、いい会社に入れば、幸せになれる」という時代は終わりつつあります。これからは、学歴より自ら学び自ら考える「生きる力」を身につけることが求められます。

学習塾など、学校以外でも学びの場はありますが、イヤイヤだったり、翌日に疲れが残るような塾通いは、子どもから元気を奪います。さらに、心の成長に大切な友人との遊びや、さまざまな体験をする機会を減らすことにもつながります。

また、他の子どもや平均値との比較に目を奪われる家庭の雰囲気は、心の成長をゆがめかねません。子どもを見つめ、その個性に応じてじっくり時間をかけて育てることが大切です。

---

【連絡事項】

①新中糖産業株式会社(上原周夫社長)より、図書館経費として金五萬円の寄付がありました。大切に活用させていただきます。
②12月３日(木)、サークル「かけはし」による朝の読み聞かせを３学年で実施しました。
③12月第２週の７～11日は、おやじの会主催による朝の立哨活動が予定されています。
④12月9日(水)は、「職業人に学ぶ進路学習会」が１学年で行われます。
⑤新型コロナウィルス感染症対策として、感染経路を絶つために、「手洗い・咳エチケット・消毒の徹底」を継続実施しましょう。